

平成21年度田辺市防災会議 議事録(要旨)

1 日 時 平成22年1月22日(金) 14:00~14:40

2 会 場 青少年研修センター 3階 大会議室

3 出席者

出席委員(29名)

真砂会長、坂本直己委員、野水委員、平井委員、小野委員、石上委員、宮井委員、森委員、北村委員、得津委員、山崎委員、岡本委員、田中委員、中村全文委員、中村久仁生委員、岩本委員(代理)、谷中委員、日野委員、木下委員、山本委員、木本委員、坂田委員、泉委員、坂本みや子委員、古久保委員、倉尾委員、稲垣委員、西村委員、津田委員

欠席委員(8名)

宮原委員、中山委員、小林委員、佐藤委員、玉置委員、竹邊委員、中田委員、中川委員

事務局(7名)

防災対策室 小郷、茨、平野

行政局 五味、黒田、西畑、小守

4 傍聴者 2名

5 内 容

議題 田辺市地域防災計画の修正について

事務局から田辺市地域防災計画平成21年度修正(案)の説明を行った。

【質疑・意見等】

質疑・意見等特になく、承認を得る。

報告 田辺市防災対策アクションプログラムについて

平成21年10月に策定した田辺市防災対策アクションプログラムの報告を行った。

【質疑・意見等】

委員：アクションプログラムに示されている「人的被害」とは、具体的にどのようなことをいうのか。

事務局：県が東海・東南海・南海地震同時発生により想定している死者数・負傷者数等のことである。田辺市の人的被害の想定はアクションプログラム2ページにも記述している。

6 その他

出席委員から質疑・意見等

委員：熊野川における二津野ダムの崩壊や河川の増水による被害は想定されているのか。

事務局：ダム崩壊による被害の想定はしていない。河川の増水による被害想定としては、伊勢湾台風と同程度の大雨により氾濫した場合の浸水状況を記した「洪水ハザードマップ」

を、昨年度各家庭に配布しており、市ホームページにも掲載している。

委員：田辺市には地震観測施設はないのか。

事務局：地震観測施設はないが、田辺地域及び各行政局管内に震度計が設置されている。

委員：今後30年以内の地震の発生確率は、例えば東海地震では87%と示されているが、この確率は今後変わっていくものか。それとも発生するまで変わらないのか。

事務局：地震の発生確率は政府の地震調査研究推進本部が公表しているが、例えば南海地震の今後30年以内の発生確率は、これまでの50～60%から平成22年1月1日には60%に引き上げられているように、基本的には時間の経過とともに確率値は増加している。

事務局からのお知らせ

・防災関係機関訓練について

平成22年の秋頃を実施したいと考えている。日程、会場等は現在調整中であるが、決定しだい関係機関の皆さんにはお知らせするので、ご協力願いたい。

・地域防災計画の冊子について

現在配布している冊子は、当初作成時のものであり、その後は新旧対照表で対応いただいているため、使いづらくなっていることから、今回の修正後、来年度の早い時期に製本し、委員各位にお配りする予定にしているため、ご了承いただきたい。